

日本・ロシア芸術交流シンポジウム 2009

— ロシア構成主義—タトリンから現代ロシア美術まで —

講演会及びパネルディスカッション

ゲスト 針生一郎	(和光大学名誉教授、美術評論家連盟前会長)
ドミトリー・ディマコフ	(ペンザ市美術学校、建築歴史学教授)
ユーリ・トカチェンコ	(ペンザ州立建築・建設大学教授、彫刻家)
ラプシナ・エレナ	(ペンザ州立建築・建設大学教授、ロシア正教建築研究家)
ヴァレンティナ・ズサヴィスカヤ	(ペンザ州立建築・建設大学建築学科教授)

日本側パネリスト

サトル・タカダ	(彫刻家)
塚脇 淳	(神戸大学発達科学部教授、彫刻家)
楯岡求美	(神戸大学国際文化学部准教授)
大槻孝之	(日本大学芸術学部教授、彫刻家)

<概要>

第1部基調講演：美術評論家針生一郎氏は、ロシアとの関係が深く20数回に亘りロシアを訪れている。氏の経験から1930年から現代までのロシア美術と文学、政治等を俯瞰する切り口の講演。

第2部：ロシア構成主義タトリンの研究家ドミトリー・ディマコフ氏によるタトリンの芸術について映像を交えての講演。

第3部：現代ロシア美術の状況をユーリ・トカチェンコ氏とラプシナ・エレナ氏及びヴァレンティナ・ズサヴィスカヤ氏による講演とペンザ国際彫刻シンポジウムに参加した日本の作家とのパネルディスカッション。

<会場>

神戸大学発達科学部大会議室 [10月17日(土) 午後2時～5時]

*このシンポジウムは日本大学芸術学部所沢校舎に於いても行われます。 [10月21日(水) 午後2時～5時]

関連展覧会

2009年10月26日(月)～10月31日(土) 東京銀座：東邦画廊

ロシア彫刻家と日本彫刻家10名による作品・資料展示

主催：神戸大学発達科学部、日本大学芸術学部
協力：日本・ロシア芸術交流プロジェクト実行委員会
後援：ロシア大使館・ロシア文化協力庁